

## 令和 2 年度に実施するモニタリング調査等及び 検討会開催について（予定）

### 1 令和 2 年度に実施予定のモニタリング調査、試行的対策

令和元年度に実施した地表水や地下水のモニタリング調査、湿原地質（土壌）調査及び試行的保全対策を継続して実施し、令和 3 年度以降には、湿原に急激な影響を及ぼしている要因を抽出し、保全対策の取りまとめに資するデータを蓄積する。

#### 1-1 モニタリング調査

##### 1. 植生保護柵内外の植生状況調査（小花之江河）

平成 29 年度に設置した植生保護柵内外にある調査プロットについて植生調査を実施し、柵内外の植生の回復状況を確認する。シカの踏圧、食害についても状況把握する。

##### 2. 水の収支、地下水、水気温等モニタリング調査（花之江河、小花之江河）

各種計測器機は、令和元年 10 月に設置後、年に数回データ回収を行いつつ、令和 3 年度まで設置予定としている。下記設置箇所（表 1-1）については、令和 2 年度も引き続き継続調査を行う。

さらに、設置した計測器機の故障が少なく、想定していたデータが取得できていた場合には、調査内容を精査した上で、計測地点を増やし、全体の水収支を把握できるようにしたい考え。

表 1-1 計測調査地点（令和元年度）

項目	花之江河	小花之江河
水位計による水位観測 （通年）	流入 1 箇所、流出 1 箇所	なし
水位・流速観測（年数回）	流入 2 箇所、流出 1 箇所 ※内、流入 1 箇所、流出 1 箇所では水位計による水位観測を行っている。	流入 1 箇所、流出 1 箇所
水温度計（通年）	1 箇所	1 箇所
泥炭層温度計（通年）	1 箇所	1 箇所
大気圧計（通年）	1 箇所	なし
温湿度計（通年）	1 箇所	なし
地下水位計（通年）	1 箇所	1 箇所

### 3. 湿原地質（土壌）調査内容及び地点の検討

湿原の成立や遷移を把握するためには、本年度採取した試料のみでは十分でないため、試料採取地点数の増加を検討する。また、分析には時間を要するので、土壌採取は年度業務開始後の早い時期に行うことを想定する。

## 1-2 試行的保全対策の実施

令和元年度に設置した丸太木柵工の経過観察をモニタリング調査時に併せて実施し、結果を踏まえて、更なる設置箇所と設置手法の検討を行う。

1. 令和元年度に花之江河に設置した丸太木柵工の経過観察
2. 令和2年度に設置する試行的保全対策の場所の検討

## 1-3 その他の調査

以下の1～3の調査については、平成27年度調査から5年後の調査として、経年変化を把握し、評価を行う。

1. 水域環境（流路・灌水域）
2. 土砂堆積量の分布面積、植生群落の分布状況の分布図及び詳細な微地形図の作成
3. 希少種ハベマメシジミの生息調査

## 2 令和2年度高層湿原保全対策検討会の開催について

令和元年度から令和2年度の調査・対策内容が効果的であるかどうかについて検証を行い、必要であれば調査内容や調査地点について検討を行う。

表 2-1 令和2年度の検討内容

検討会	開催場所 開催時期	検討内容
第1回検討会	鹿児島市内 11～12月頃	・令和2年度に実施する調査結果の中間報告、検証 ・令和3年度に実施するモニタリング調査、地質調査及び試行的保全対策等の検討